

別紙ノ會計報告ニヨリ説明ヲナシ堀内長榮ハ事業報告ヲナシテ以下ヲ力説シ「本組合ガ行ウ日常闘争ハ殆ンド社外船乗組員諸君ノ勞働條件ノ維持改善デアツテ本年四月一日以降十月十五日ニ至ル約半ケ年ニ於テ本組合ガ船内各種勞働條件ノ維持改善或ハ各種事項ニ至ル組合員ノ福利ノ爲メニ交渉解決シタ人員總數ハ實ニ四千八百九十三人ノ多キニ上ツテ居ル、其中船内勞働條件ノ改善ニヨルモノハ四千七百二十八人デアリ個人交渉ニヨルモノガ百六十五人デアアル
更ニ之ヲ社船及社會船ニ分ツテ其割合ヲ見レバ社船乗組員ハ船内勞働條件交渉ニヨル四千七百二十八人ノ内、郵船二十五人、商船二十五人、近海郵船百八十八人、合計二百三十八人即チ僅カ五分ニシカ過ギナイ 又個人交渉ニ於テハ前記百六十五人ノ内、商船一人、近海郵船九人、合計十人即チ六分ニシカ過ギナイ、即チ全体的ニ見レバ社外船ニ對シテ社船ハ僅カニ五パーセントデアリ九十五パーセントハ總ベテ社外船デアアル

斯クノ如ク本組合カ日常交渉解決セル所ノモノハ殆ンドスベテ社船船乗組大衆ノ船内勞働條件ノ維持改善ノミデアルト断定シテモ毫モ憚カラザル次第デアアル。ソレ故ニ本組合ガ今回郵、商、近郵三社ニ對シテ三社乗組員ノ待遇改善要求ヲ提出シテ其八割迄モ要求ヲ貫徹セシメタノハ當然デアアル。近時革正同盟及海友クラブノ一握ノ幹部ガ「本組合ハ社船ノミノ組合デアアル」ト稱シテ宣傳シ居ルガ如キハ前記ノ本組合ノ日常闘争ニ對シテ全然色盲デアリ、唾棄スベキ嫉妬ヲ表明シテ餘リガナイト言ウベキデアアル」

阪神地方大風水害被害者救済報告ニ付キテ片山大阪支部長ハ左記説明ス

去ル九月二十一日突然阪神地方ヲ襲ツタ大暴風ハ實ニ想像以上ノ災害ヲ一般ニ與ヘタノデアツテ大阪港湾ノ設備不完全ニヨツテ港區、此花區、大正區等ニ於テハ浸水一丈以上ニ達シ職員ノ傷ニ達シタノデ大阪支部ハ川口支部ト協議シ直チニ救護班ヲ組織シ本部トモ打合